

82 わが^ほ欲りし 野島は見せつ 底深き 阿胡根^{あごね}の浦の 珠^{たま}そ拾はぬ^{ひり}

阿胡根の浦、現在場所不明、珠-鮫^{あわびたま}珠ともいい、真珠のこと。古代、珠は^{たましい}靈魂に通じ、行幸の5ヶ月前に亡くなられた齊名天皇の孫、中大兄皇子の嫡男の魂をこの美しい深海の阿胡根の浦に求めた鎮魂の歌でもあるといわれています。恐らく船上から詠まれた歌であるといわれている。

この歌は658年紀の湯行幸の際の歌であり、作者の^{なかつ すめら みこと}中 皇 命については齊明天皇の娘間人皇女、^{なかのおおえのみこ}中大兄皇子の妻 ^{やまとのおきさき}倭 大后等諸説あるが齊明天皇説が有力。

私が見たいと思っていた(美しい)野島は見たが阿胡根の浦の深い底に潜む(美しい)真珠はまだ拾っていないよ

(^{なかつ すめら みこと}中 皇 命)(1-12)



御坊市名田町野島の浦 2002/02/15